

# スポット溶接できる ダイカスト技術〈SWAD〉

詳細はこちら



ダイカストで軽量化、未来への一步を踏み出す！

SWADとは

Spot WeldAble（スポット溶接可能な）Diecasting（ダイカスト）  
自動車の組立ラインで、鋼板とダイカストを直接スポット溶接する技術

メリット

- ・ SPRなどの専用設備の設置・投資が不要となる  
既存のスポット溶接機を使用してダイカストと鋼板が接合できるため、  
SPRなどのダイカスト組付け設備への投資を削減できる
- ・ 生産効率が向上し、生産ラインの柔軟性が増す  
異なる車種を同じラインで生産する際に、活用が期待される
- ・ 接合部がダイカストの外部に露出しないため、電食の心配がない  
ダイカストで実績のあるSPRと同等の耐食性能を有する

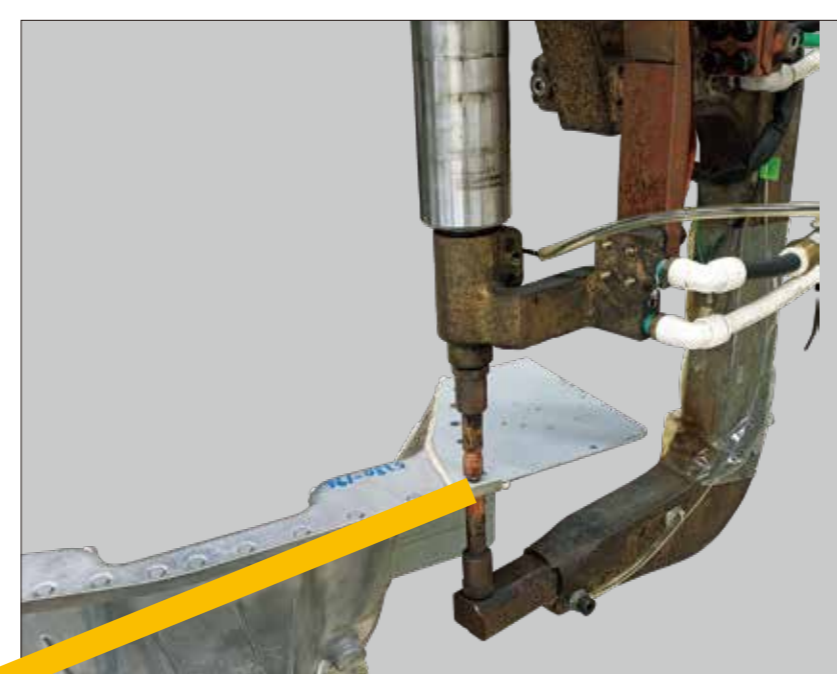
対象製品

自動車の軽量化を実現するために、マルチマテリアル構造  
のボディに使用されるダイカスト製品

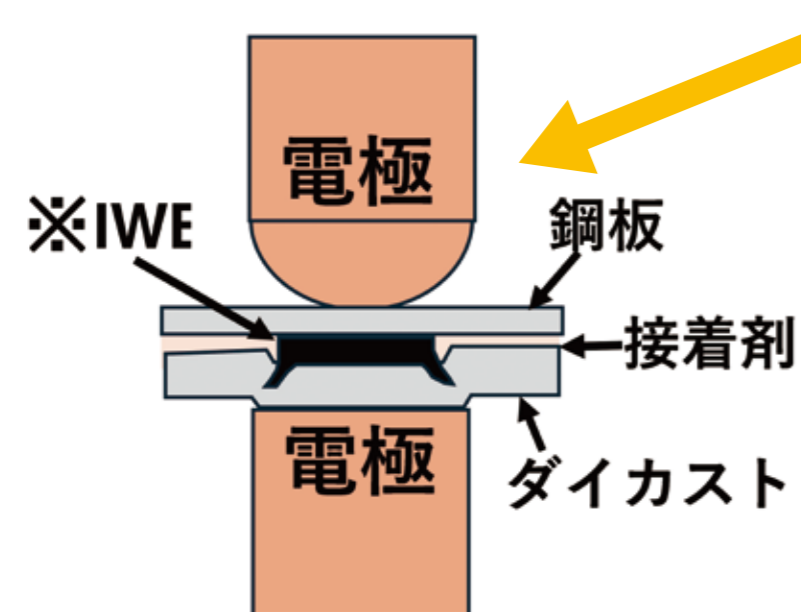
ダイカスト製品



スポット溶接状況



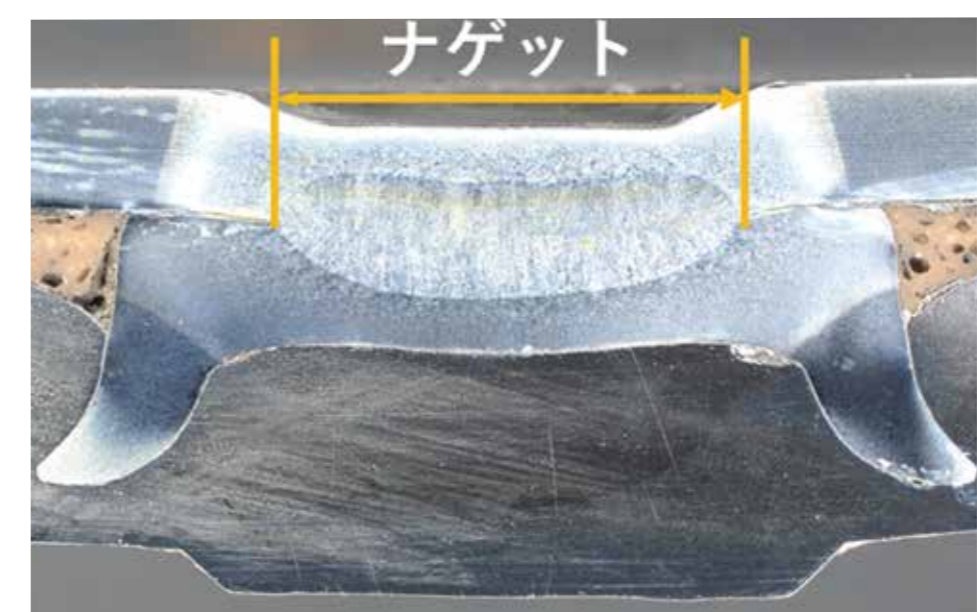
鋼板とスポット溶接した製品



※Inserted Welding Element



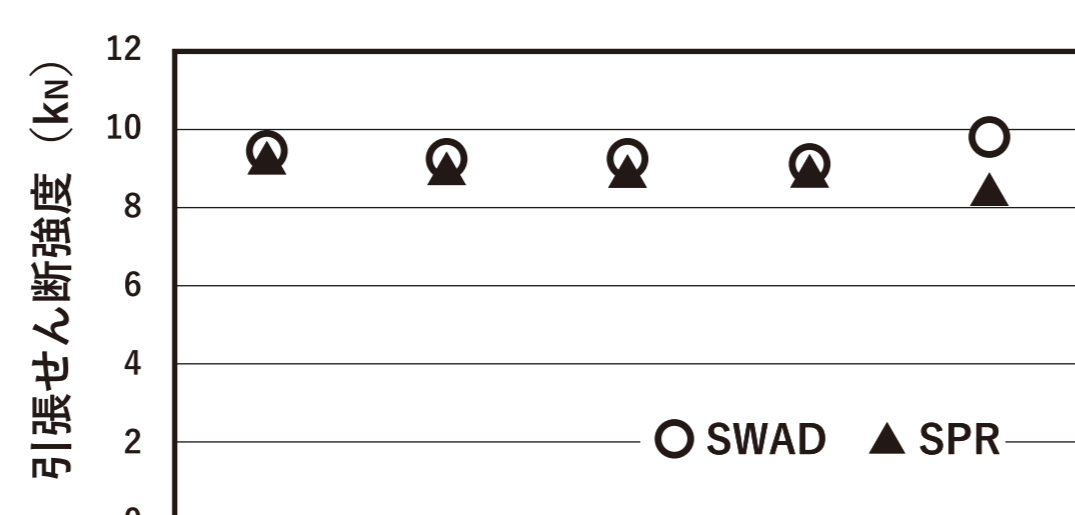
SWAD接合部断面



接合部断面腐食によるナゲット観察

特長

通常のスポット溶接工程で鋼板とダイカストを接合できる



鋼板：GA590t1.6  
ダイカスト：Al-10Si-0.3Mg-0.5Mn系t3

SWADは、SPR接合と同じ引張せん断強度を提供します